



早いもので2017年も2月になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

冬本番、寒い日が続いていますが、もうすぐ暖かい春がやってきます。元気で寒さを乗り切りましょう！

2月号は、手話サークル「ピース」をご紹介します。

手話 (sign language) は手指動作と非手指動作を同時に使い意思疎通をはかる視覚言語です。取材で伺ったとき、会員の皆さんが発表されていまして。ピースに入会した動機や活動の感想をお聞きしました。

手話サークル「ピース」

設立 1998年(平成10年)

代表者 鶴島千秋 講師

会員数 41人(2~3年から10年経験の方まで)

活動 月4回(毎週木曜日)手話を実習。

福祉ふれあい祭りなど参加されています。

茅ヶ崎市内の小中学校で手話の授業支援など行っています。

汐見台小学校、緑が浜小学校は4年生で手話の授業があるそうです。



手話発表の様子

入会の動機 ・TVの「碧いうさぎ」を見て手話を知り・・・

・幼稚園に手話サークルがあった。

入会後の感想 ・みんなの前で発表するのはドキドキする。

・最近は読み取りが分かるようになり、活動の時間が嬉しい。

・メンバーが素晴らしい。

・手話で話す時は「大丈夫！ できる！」ドキドキしながら参加している。

・皆さんの話を聞いて嬉しくて泣きそう。

・出来ない出来ないと思わない。

・初めの頃は大変だったけれど今は楽しい。



ま



つ



な



み

【雑記】

1979年(昭和54年)坂本九さんが、全国ろう者大会で「そして思い出」という歌を歌いました。この歌は丸山浩路氏が世界で初めて手話の歌詞を作られ、作曲は中村八大氏、作詞は永六輔氏です。坂本九さんが日航機事故で不慮の死を遂げられたとき、彼の死で手話が市民権を得るのが5年遅れたといわれています。福祉界にとって大きな損失だったのですね。

松浪コミセンからのお知らせ

昨年の11月20日(日)午後1Fフリースペースでパーチェム・ソローレ(女性コーラスサークル)のコンサートが開催されました。約70人が来場され、アンコールもあり、皆さん大いに楽しんでいらっしゃいました。

「なみっこ」開き読みの会

日時：2月23日(木)11:00~ 於】1F子どもの家「なみっこ」

